

CAPTAIN IZHAM ISMAIL

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Chief Executive Officer, Malaysia Airlines
- Member of the Board of Governors, International Air Transport Association (IATA)



マレーシア航空の CEO であり、マレーシア航空グループのグループ マネージング ディレクターであるイザム イスマイル機長は、先見の明のあるリーダーであり、その歩みは粘り強さ、決意、そして卓越性への取り組みを体現しています。

イザム機長の変遷は、航空に対する情熱と成功への飽くなき追求によって特徴づけられる。パイロットとしてキャリアをスタートさせた彼は、その卓越した飛行技術と生まれながらのリーダーシップ能力ですぐに頭角を現した。パイロットとして、彼はマレーシア航空初のボーイング 777-200 をシアトルからクアラルンプールまで東へ飛行し、航空の世界記録を破った。この飛行は、民間航空機による世界最長飛行と世界最速周回飛行の新記録となり、総飛行時間は 41 時間 59 分、距離は 23,310 マイルとなった。

Topics

- Asia
- Branding
- Business
- CEOs
- Leadership
- Management
- Strategy
- Transformation

イザム機長はマレーシア航空での在職中、さまざまな重要な役職を務め、勤勉さと献身的な姿勢で着実に昇進してきました。イザム機長を際立たせているのは、困難を乗り越えてマレーシア航空を成功に導く卓越した能力です。CEO に就任したイザム機長は、財政難や運営上の課題など、大きな混乱に直面していた会社を引き継ぎました。しかし、イザム機長は戦略的な考え方でこれらの課題に取り組み、航空会社の再生と地域を代表する航空会社としての評判の回復を目的とした大胆な取り組みを実行しました。

イザム機長のリーダーシップの下、マレーシア航空は、業務効率の向上、顧客体験の改善、財務状況の強化に重点を置いた包括的な変革を実施しました。イザム機長は、慎重な意思決定と戦略的パートナーシップを通じて、業界の懐疑論者を覆し、航空会社を収益性の高い方向に導くことに成功しました。

イザム機長のリーダーシップスタイルは、実践的なアプローチ、戦略的先見性、そしてマレーシア航空の従業員と乗客の幸福に対する真摯な取り組みが特徴です。他の人を鼓舞し動機付ける能力と、強い倫理観が相まって、彼は社内および航空業界全体で尊敬を集めています。

イザム機長は、航空業界での豊富な経験に加え、2019年から2022年までマレーシア観光局の役員を務めました。現在は、国際航空運送協会(IATA)の理事会、ワンワールドアライアンス管理委員会、アジア太平洋航空会社協会(AAPA)の執行委員を務めています。また、2019年からはマレーシア国家航空諮問委員会の経済諮問委員会の議長も務めています。

トピック：

- 回復力のあるリーダーシップ
- 変換
- 多様性と包摂

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988